

「ほっといたらあかんやん！第15回大阪湾フォーラム」の概要

- 日 時 平成31年3月9日（土）10:00～17:00
- 場 所 浜寺公園レストハウス、高石市高師浜
- 主 催 大阪湾見守りネット、（一財）環境事業協会、大阪湾環境保全協議会、
国土交通省近畿地方整備局神戸港湾空港技術調査事務所
- 開催内容 午前 高師浜観察会、SDGs ゲーム体験会
高校生による大阪湾産魚食開発商品の販売
ワークショップ（7団体）
展示（16団体）終日
午後 シンポジウム
講演（講師）3名
各団体からの取り組み紹介（9団体）
交流会

1. 高師浜観察会

高石漁港横のミニ砂浜において観察会が開かれました。当日は朝から好天に恵まれ、砂浜水際線でカニ、ゴカイ、貝、など沢山の生物を採取しました。山西さん、鍋島さんからは採取された生き物についての解説があり、参加者たちは熱心に聞き入っていました。（参加者は高校生を含め26名）



高師浜観察会の様子（写真左）
採集した貝などの生物（写真上）



会場内で行われたワークショップ



CIFER・コアパネル展示

2. シンポジウム



① 講演

- ・住吉大社権禰宜 小出英詞さん

「堺と一体化した住吉」「古代からの住吉大社と海とのかかわり」「明石海峡—住吉大社—法隆寺との軸線」「謡曲『高砂』のなかでの住吉（すみのえ）のくだり」「『伊勢物語』『源氏物語』『御伽草紙』で住吉浜の記述」など、住吉大社と堺の海との関わりについて、ユーモアを交えてお話いただきました。



- ・元堺市漁業協同組合連合会会長 高田利夫さん

83歳の現役漁師。「今は海がキレイすぎて魚が捕れなくなった。」「以前は大和川河口でウナギが船一杯に獲れた。」「今はタコ漁だけ。」など、以前の大和川河口付近の漁の思い出話などをお話されました。



- ・大阪市立自然史博物館友の会代表 鍋島靖信さん

大浜で育ったころの思い出話や、終戦直後進駐軍の宿舎に浜寺が接收され、松が伐採されたが、返還後大阪府が松林を復活させた話、深堀れが原因の青潮の湧昇・貧酸素水塊の発生についてなど、堺の海のもよま話をされました。



② 各団体からの取り組み紹介

CIFER・コアからは、横山理事による「大阪湾の海底くぼ地」等についての発表がありました。

大阪湾の三大課題（失われた自然環境、巨大な海底くぼ地、栄養塩の偏在）と窪地の現状、「(仮称)大阪湾環境再生・創造センター」の説明に併せ、「ミニ砂浜をつくろう会」の活動についても紹介しました。



3. 次回フォーラム

2020年3月7日（土）に決定